

サポートセンターニュース



巨理地区もいっしょにサポート

教区栃木県北・県央ブロックでは、2012年3月下旬から今まで一ヶ月に一度定期的に一泊の宮城県巨理郡巨理町地区でボランティアを行なっている。現地でのニーズを探しながら町内五ヶ所の仮設住宅を回り、映画鑑賞と手芸教室を行ってきた。



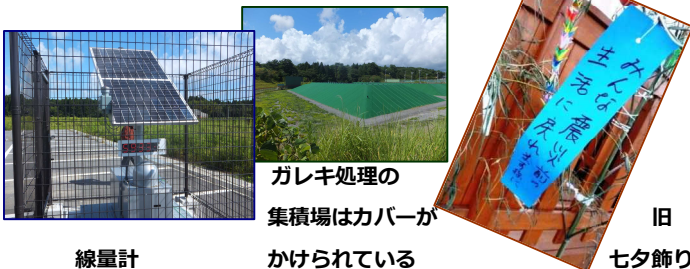
仮設住宅での手芸教室

貝殻で作る「根付け・マグネット」/タオル「がんばるぞう」

この10月からは教区サポートセンターとして、いわき市高久 S.S「もみの木」と仙台市巨理地区の二箇所を支援していくことになった。

教区ホームページの「サポートセンター・V.ダイアリー」で二ヶ所での活動内容を順次更新していく。

福島県大熊町の様子



線量計

ガレキ処理の
集積場はカバーが
かけられている

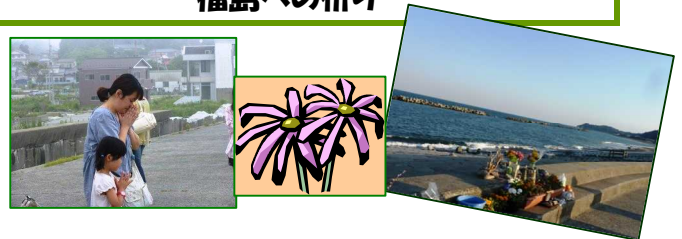
旧
七夕飾り

9月1日、仮設に住んでいる大熊町の方に案内されて北上し大熊町まで走行した。3.11 後立ち入り禁止区域だったのでそのままの状態。

大熊町民 95%が居住している地域が帰還困難区域。第一次大熊町復興計画では「町として五年間

は帰町しない」事が議決された(9/21)。福島県に大熊町から 8,254 人が避難。いわき市には 3,408 人、会津若松市には 2,850 人が町外コミュニティとして生活している。

福島への祈り



初めてのボランティアの方、遠方からの訪問者には久ノ浜の海岸を案内する。久ノ浜にはいつもここを訪れた人が死者の冥福を祈るために、花が手向けてある。

十ヶ所で出前もみの木フレンド・カフェを

出前カフェは、いわき市鹿島下矢田,小名浜上神白,小名浜林城, 高久第 8,高久第 9-1,9-2, 第 10-2, 四倉細谷,好間第 3 仮設の十ヶ所に増えた。大熊町・楡葉町からの避難の方々が入居。自治会からの依頼も増えコーヒーを飲みながら編み物、手芸教室、将棋などで団らんする。



カフェでは NHK 復興ソング「花は咲く」をうたう



大熊町の方たちの仮設では、長期居住するので各自でベランダを作り、リフォームも。



**お知らせ 12月15日(土)13:30~「みんなで祝うクリスマス」
いわき市高久・ステーション「もみの木」にて**